

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）【第4回変更】

計画の名称	51 ふじのくに静岡県の競争力強化のための成長基盤となるICアクセス道路整備計画										重点配分対象の該当	○						
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）			交付対象	静岡県、御殿場市、富士市													
計画の目標	整備が進む新東名高速道路、伊豆縦貫自動車道等の高規格幹線道路の整備効果を県内各地に波及させるため、アクセス道路整備を行うことで、静岡県の立地競争力の強化を図る。																	
計画の成果目標（定量的指標）	中心都市等への30分行動圏人口カバー率が93.2%（現況値）から93.9%（平成29年度値）に向上させる。 県内の工業団地の分譲を促進させ、県内都市の立地競争力を強化させる。																	
定量的指標の定義及び算定式	$\text{中心都市等への30分行動圏人口カバー率} = \frac{\text{（高規格幹線ICおよび地域中心都市へ30分以内に到達できる地域に居住する人口）} / \text{（県人口）}}{\text{ICへのアクセスが向上することにより、立地競争力を高めることができる分譲団地及び主要工場の敷地面積（ha）（主要工場：従業員300人以上の企業の工場）}}$																	
										定量的指標の現況値及び目標値		備考						
										当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)		最終目標値 (H30末)					
										93.20%	-		93.90%					
										0ha		104ha						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	17,319 百万円	A	17,099 百万円	B	0 百万円	C	220 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.3%						
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30					
51-A1	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(国) 414号 須原拡幅	現道拡幅 4.2 km	下田市～河津町							372			
51-A2	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(国) 136号 下船原バイパス	バイパス 0.8 km	伊豆市							2,351			
51-A3	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(国) 136号 函南～三島バイパス①	バイパス 1.9 km	函南町							30			
51-A4	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(主) 大岡元長窪線 下長窪	現道拡幅 0.5 km	長泉町							220			
51-A5	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(国) 469号 御殿場バイパス	バイパス 0.9 km	御殿場市							1,405			
51-A6	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(一) 仁杉柴怒田線 仁杉	バイパス 1.5 km	御殿場市							2,523			
51-A7	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	(市) 0106号線 柴怒田	バイパス 0.4 km	御殿場市							682			
51-A8	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(国) 473号 大代拡幅	現道拡幅 1.4 km	島田市							534			
51-A9	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(国) 414号 静浦バイパス	バイパス 5.1 km	沼津市							5,465			
51-A10	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(主) 焼津森線 下当間	現道拡幅 1.3 km	藤枝市							640			
51-A11	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	(一) 富士由比線 新々富士川橋	橋梁新設 1.4 km	富士市							2,700			
51-A12	道路	一般	富士市	直接	富士市	(市) 上町小山線ほか 岩淵	現道拡幅 0.2 km	富士市							27			
51-A13	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	(市) 3679号線 町屋	バイパス 0.5 km	御殿場市							150			
												合計						
												17,099						
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30					
												0						
												合計						
												0						
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29	H30					
51-C1	施設整備	一般	静岡県	直接	静岡県	(国) 136号（江間改築）交通円滑化	江間ICフルインター整備	伊豆の国市							220			
												合計						
												220						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						
51-C1	建設中の伊豆縦貫自動車道や関連整備事業の（国）136号函南三島バイパス①（51-A3）や下船原バイパス（51-A2）事業と合わせて、当面の期間、伊豆縦貫自動車道の役割を担う（国）136号バイパス（伊豆中央道）の江間ICを有料道路事業と一体でフルインター整備することで、幹線道路機能を向上し伊豆縦貫自動車道へのアクセス性をより高め、東名高速道路や新東名高速道路とのネットワークを強化することで、当該地域の他地域との競争力の強化及び今後の一層の民間投資の喚起が期待される。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
									H26	H27	H28	H29	H30					
												0						
												合計						
												0						
番号												備考						

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	753.397	588.664			
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000			
交付額 (c=a+b)	753.397	588.664			
前年度からの繰越額 (d)	0.000	422.084			
支払済額 (e)	331.313	789.433			
翌年度繰越額 (f)	422.084	221.315			
うち未契約繰越額 (g)	199.664	47.283			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	26.5%	4.7%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	用地関係(相 続)	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。  
 ※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 51 ふじのくに静岡県の競争力強化のための成長基盤となるICアクセス道路整備計画

(交付団体)

静岡県、御殿場市、富士市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本方針・上位計画等との適合等</b>	
1) 基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○)</small> 1 国土形成計画全国計画    2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画    4 環境基本計画    ⑤ その他(静岡県社会資本整備重点計画)	
II. 計画の効果・効率性	
<b>②目標と事業内容の整合性等</b>	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
<b>③事業の効果</b>	
1) 十分な事業効果が期待できる。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
<b>④円滑な事業執行の環境</b>	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○